

さくら祭が開催されました！！



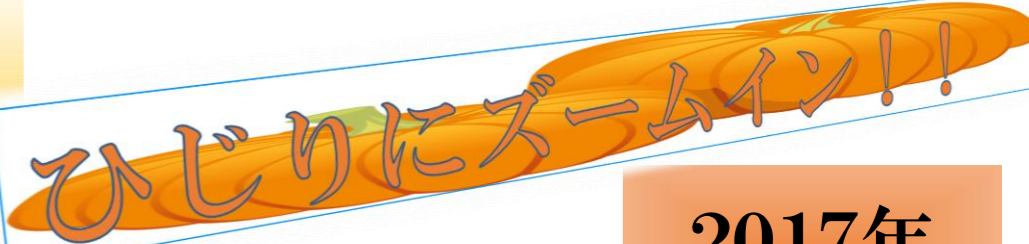
昨年は雨の為、急遽室内での開催となったさくら祭ですが、今年は打って変わって晴れ空が広がり屋外で開催することができました。手作り感満載の小さなお祭りですが、今年のみやぎき犬のかあ君が来てくれるなど例年よりもイベント盛りだくさんなお祭りになりました。普段外に出られないことも多い利用者様方ですので、夜風と祭りの雰囲気はとても良い刺激になったのではないかと思います。後日、ご家族の方にも“お祭良かったです”と言っていたら、やってよかったと思えるお祭りでした。

社長による職員紹介

今回は訪問看護ステーション翔の理学療法士、川内麻奈未さんの紹介です！！入社2年目の彼女、中学生のころ祖父が脳梗塞で倒れ、一時は車イス生活を余儀なくされていたが、賢明なリハビリのおかげで車を運転できるまでに回復した姿を見て理学療法士に憧れ資格取得をされた。資格取得後、5年程の病院勤務を経て当社に入社された。常に利用者様、ご家族の希望を大切に、そして実現していきたいという思いを持ち仕事に取り組んでいるが、本人曰く病院とは違い、在宅生活に求められるリハビリの知識・技術がまだまだで、日々勉強です！！皆さんご指導宜しくお願いします！！と話す。休日は、漫画を読んだりゲームしたりとインドアな彼女、秘かにはまっているのが太鼓チーム「TAO」だ。近県での公演には毎回足を運び、DVDでも鑑賞するほどのハマり様。男性の素敵なお筋肉を見るとうっとりするらしい。笑。仕事に対しても前向きな彼女、来年の飛桜祭で「聖座」の一員として和太鼓演奏を是非期待したい！！



有限会社 聖 社是 「利他の心」



2017年 10月号

お祭りをおして伝えたいこと。

1.一番の目的は、利用者様に純粋に楽しんでほしいこと。

施設内で過ごされている入居者の方から「自分たちは、籠の鳥やね」と言われたことがあります。そういった、気持ちにさせてしまうような介護ではあってはならないのですが、まだまだ自分たちの介護力では難しい面も多いと感じさせられる出来事でした。そういったこともあって、色々な行事(音楽療法や寿司パーティやドライブなど、努力は続けています)を行っています。その、集大成としてのお祭りだと思ってくださると有り難いと思います。

2.それを、一緒に家族に楽しんでほしいこと。

介護が必要になってくると、簡単に一緒に出かけて食事に行ったり旅行に行くことが難しくなってきます。もちろん、お正月には自宅に連れて帰ったりされる家族もいらしゃいますので一概には言えませんが。そのため、お祭りには必ず家族に参加してほしいため体育祭や敬老会の時期をずらしたりして検討し日時を決めています。利用者様が楽しんでいる姿をみて欲しいし、一緒に楽しめるお祭りをしていきたいと思っています。

3.地域との交流を深め、地域へ貢献をしていきたいこと。

お祭りは、昔から馴染み深い地域の行事の一つだと思います。ただ、最近では地域に高齢者が増え、また子供も減ってきており地域のお祭も開催が難しくなっています。その中で、地域の子供達と親御さんが一緒に楽しめる場の提供をしていきたいと思っています。お祭り前には、地域の方にチラシを配るのですが、ケアタウン飛鳥の周辺の地域に配っていると地域の方から「花火があがるお祭りやろ」と言ってもらえるようになりました。ただ、さくら荘でのお祭りに関してはまだまだ認知度が低く地域に貢献できるまでには至っていません。今後も、色々な方法を模索していきたいと思っています。

有限会社聖として、これからもお祭りや様々なイベントをおして入居者・家族・地域の方たちに楽しんでもらい笑顔で過ごせる施設や地域を創っていききたいと思います。

有限会社 聖

住宅型有料老人ホーム ケアタウン飛鳥
住宅型有料老人ホーム ケアホームさくら荘
デイサービス陽だまり (通所介護)
訪問看護ステーション翔 (訪問看護)
ケアサポートセンターひじり (居宅介護)
ケアセンターさくら (訪問介護)

ケアセンターさくら便り

9月の全体ミーティングで研修発表を行って頂きました。「キャリアパス対応研修課程チームリーダー」酒井舞さん、波越樹さん。「介護職だからこそ“気づき”が出来る大切さ」酒井舞さん、甲斐和子さん。「ターミナル基礎研修」吉武秀子さん。リーダーとしての意識付、普段の生活の中で何を考えるか、人生の最後をどう過ごして頂くかを皆の代表として勉強してこられ、皆に大事な事を伝えられたのではないかと思います。今後の業務の中で活かして行ってくれることでしょうか。

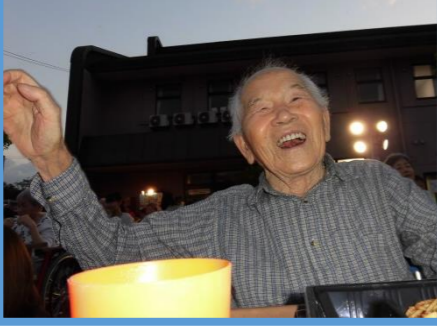
お洒落なシティ感覚 ケアタウン飛鳥

2017年9月9日 飛桜祭開催！

秋晴れの晴天の下、ケアタウン飛鳥にて飛桜祭を開催しました。今年も、わが社が誇る和太鼓チーム「聖座」による太鼓演奏、よさこい踊りのチーム「あばれん」のダンス披露やひょっとこ踊り、抽選会、打ち上げ花火など素晴らしい祭りとなりました。一部ではありますが祭りの模様をお伝えいたします。



今年の飛桜祭は、聖座による太鼓演奏からスタート！！去年も演奏した「ぶち合わせ太鼓」と京都・天橋立に伝わる「てんころ太鼓」を披露しました。また利用者の甲斐董様による詩吟披露や5歳の時から23年間日本舞踊を続けている岩本 美香さんによる踊り、スタッフ、利用者の皆様でばんば踊りを行い、最後は打ち上げ花火で盛大なフィナーレを飾りました。今年は「利用者ファースト」のスローガンのもと一人ひとりが利用者の為に盛り上げた飛桜祭でした。



訪問看護ステーション翔からのお知らせ

医療保険・介護保険の訪問看護の対象者はどういった方ですか？要支援の方でも利用できるのでしょうか？
訪問看護は、医療保険、介護保険で入ることが出来ますが、基本介護保険での利用が優先です。医療保険で入る事ができるのは、厚生省が定めた疾患のあるかたや、急性期や医療処置がある方で医師が訪問看護が必要と判断された方は14日間のみ医療保険で訪問看護が入る事ができます。それ以外は介護保険での訪問看護になります。もちろん要支援の方も介護保険で入る事ができます。利用されるかたによって保険の種類が変わってくると思いますので、利用される時にはケアマネさんに相談して下さい。

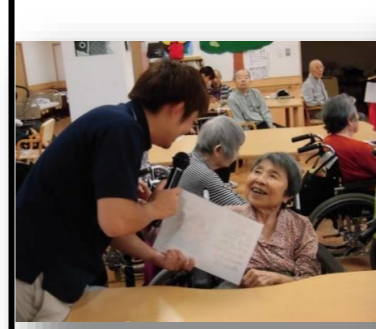
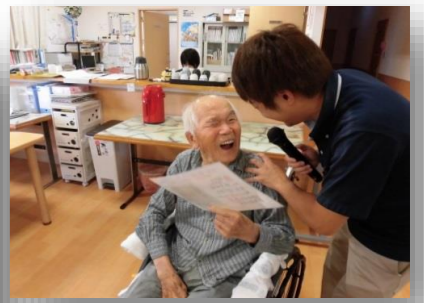
おやつ作り

今日のおやつ作りは「豆乳団子」！！豆乳になんと「片栗粉」を混ぜて作ります。分量を量り、混ぜる時も皆さんとても真剣な表情でされています。かき混ぜながら「何が出来るかね？」と訳も分からずされていましたが、「団子」と聞いた途端、一生懸命かき混ぜる方も…。
粘りが出てくると「団子っぽくなってきたが」と嬉しそうに話しながらスプーンですくい、形を作っていました。きな粉とあんこをまぶして出来上がり。
飲み込みが心配な方でも安心して食べられる素敵なお団子が出来ました。味はもちろん「最高～」



敬老の日

利用者様一人一人にスタッフ手作りの写真と感謝の言葉を送らせて頂きました。今日までの思い出やこれからの想いを胸に秘めておられる方もいらっしゃる、私達スタッフ一同、その思いに寄り添いながら、これからの人生のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。一日一日を楽しく、笑顔で過ごして頂ける様、精一杯頑張ります。



ケアサポートセンターひじりからの介護保険便り

高齢者の事故・救急搬送の8割は転倒・転落が要因 消費者庁が注意喚起！
転倒・転落の事故については、長く暮らしている自宅など慣れ親しんだ環境であったも、筋力・視力・バランス感覚の低下や自身の認識や実際の身体機能のズレなど、心身の変化によって発生リスクが高まります。本人だけではなく、家族や近隣の住民、介護職員などが身の回りの環境に注意を払って、事故を防止していきましょう。
具体的には、スロープや手すりなどを設置したり、つまずく原因になりがちな電源コードをまとめたり、暗い場所に照明を増やしたりすることも有効です。転倒・転落以外では、包装したままの薬や洗剤などの誤飲、入浴中の事故にも気をつけて！
高齢者の製品関連の事故で、昨年度5年間で、被害者が亡くなった事故で最も多いのが、ストーブに関する事故で、タンクのふたを閉め忘れたり、誤ってガソリン入れたりするなど不注意や誤った使い方などが原因の例がある。これから暖房を使用する機会も出てくるので、転倒・転落の事故と同じように、みんなで気をつけていきましょう。